

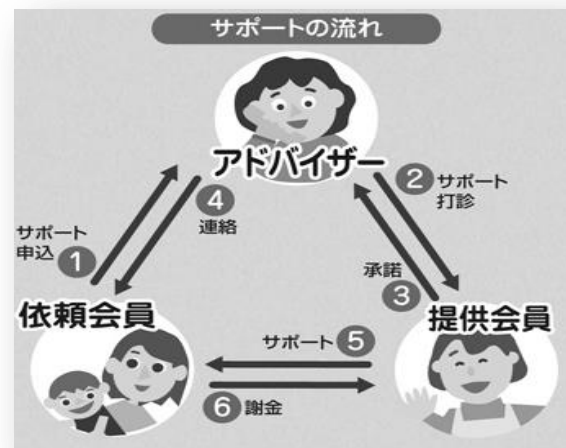
日程	講座項目	講師（敬称略）	時間
5/30 （土）	開講式・オリエンテーション 提供会員の役割と心得 保育の心 子どもの遊び	担当アドバイザー 秋山則子：三重県子どもNPOサポートセンター副理事長 堀川美子：育児支援アドバイザー 山野栄子：鈴鹿短期大学生生活学科・こども学専攻特任准教授	9:20～ 9:30～ 12:30～ 14:45～
5/31 （日）	心の発達／障害について 身体の発達と病気 会則・活動記録等の説明	千草篤麿：高田短期大学子ども学科学科長 花田 基：花田小児科院長 担当アドバイザー	9:30～ 13:30～ 16:30～
6/6 （土）	子どもの栄養と食生活 子どものけがの予防と応急処置	馬場啓子：中部大学現代教育学部 日本赤十字社三重県支部看護師	9:30～ 13:30～
6/7 （日）	小児看護の基礎知識 講座をふりかえって （グループで話し合い）	岡田まり：㈱ジェネラス訪問看護ステーションはたるいせ管理者 大紀町担当者 秋山則子：三重県子どもNPOサポートセンター副理事長	9:30～ 13:30～

ファミリーサポート提供会員の養成講座を毎年5町で順番に開催しています。27年度は大紀町が会場です。子どもが好き、子どもと関わる活動がしたいと思っている方は、是非この機会に受講してください。また、子育て中の方や、お孫さんを預かっている方も、子育てに役立つ基礎知識を学んでいただけますので、是非お申し込みください。（※依頼会員と提供会員を兼ねることもできます）

会 場：大紀町コンベンションホール
対 象 者：玉城町・度会町・南伊勢町・大紀町・大台町内および近隣市町に在住する20歳以上の方で、受講後に提供会員として登録していただける方
募 集 人 員：30名（先着順）
受 講 料：無料。ただし、テキスト代（2,500円）は受講者負担となります。
※講座日程のすべてを一度に受講できない方は、ご相談ください。
そ の 他：託児をご希望の方は、受講申し込み時にご相談ください。（無料）

主なサポートの流れ

- ・依頼会員は登録をします。（無料）
- ・アドバイザーと提供会員、依頼会員と子どもで事前打ち合わせをします。
- ・依頼会員は、センターに電話にて依頼します。
- ・アドバイザーが提供会員に連絡し、確認後実施されます。
- ・提供会員は、月締めで活動報告をまとめセンターまで提出します。
- *キャンセルの場合は、依頼会員から提供会員とセンターに速やかに連絡してください
- *サポート依頼は原則、センターの開設時間内に受け付けます。



お問い合わせは

みえ子育て支援・緊急サポートネットワーク

★南勢志摩地域センター

玉 城 町 担当アドバイザー 池田千恵 地域サブリーダー 多田倫子

度 会 町 担当アドバイザー 岩井圭子

大 紀 町 担当アドバイザー 鬼藤千代子

南伊勢町 担当アドバイザー 倉木紀子

TEL&FAX 0596-23-3938

〒516-0037 伊勢市岩渕2丁目3番13号 NPO法人 三重みなみ子どもネットワーク内

★多気郡地域センター

大 台 町 担当アドバイザー 塩谷明美

TEL&FAX 0598-22-1950

〒515-0084 松阪市日野町788 カリヨプラザ1階 特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター内



ほっとニュース

平成27年3月発行

発行：大台町ファミリー・サポート・センター



昨年9月、（特）三重県子どもNPOサポートセンター主催で、県内の子ども・子育て支援をしているNPO団体総勢19名で、ニュージーランドへ視察に行ってきました。

ニュージーランドでは、妊娠中・出産・育児・保育・就学前教育が官民一体となり、途切れのない子ども・子育て支援が行われています。とりわけ、就学前教育では、託児所・保育園・幼稚園・プレイセンターなど保育施設は多様ですが、教育省(日本の文部科学省)が定めたテ・ファリキ（Te Whariki）に基づいた教育を実施しています。テ・ファリキは、マオリ語で「縦横に編む」という意味で、4つの原則【エンパワーメント・全人的成長・関係性・家族と地域社会】と5つの要素【心身の健康・帰属意識・社会貢献・コミュニケーション・探求】からなる理念に基づいたカリキュラムです。こうした原則と要素を編むように社会文化的背景に即して、子どもたちを個々の発達段階に応じて育てていくという内容になっていて、何歳で何ができるようになるといった目標や、行わなければならない教育内容は一切ありません。

保育施設を訪問して、子ども自身がやりたい遊びを満足するまでしているところや、保育者が今その子どもが何を必要としているのかをしっかりと見極めてサポートしているところを目の当たりにし、子ども一人ひとりが尊重されていると感じました。また、親も自ら学び、地域の中で助け合いながら子育てをしている様子がうかがえました。なにより、国策として、すべての施設でテ・ファリキが実践されていることがすばらしいと思いました。

今後は、視察してきたことを地域の子ども・子育て支援に生かしていけるよう努め、「子どもが主体である」支援をすすめていきたいと思います。（秋山）

地域別会員数 &活動件数 (平成27年3月末現在)

地域	依頼会員	提供会員	両方会員	会員数合計	活動件数
玉城町	119	40	6	165	649
南伊勢町	11	13	1	25	4
大紀町	14	18	1	33	0
度会町	32	14	5	51	14
大台町	53	47	8	108	0
合計	229	132	21	382	667

保育施設の開始時や終了後の子どもの預かり・・・49回
保育施設等までの送迎・・・298回
放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり・・・232回
学校の放課後の子どもの預かり・・・0回
冠婚葬祭や兄弟の学校行事の際の子どもの預かり・・・1回
買い物等外出の際の子どもの預かり・・・8回
その他・・・37回
病児・病後児の預かり・・・2回
宿泊を伴う預かり・・・0回
その他（早朝・夜間等の緊急時の預かりなど）・・・19回
上記に伴う保育施設、病児・病後児保育施設自宅間の送迎・・・21回

利用状況 (平成26年度)

大台町

平成27年4月から新たにスタートした「子ども子育て支援制度」は、子育て中のすべての家庭を支援することを目的として、それぞれの市町が地域に応じた計画を策定しています。

この計画は、大台町でも町民の皆様からの意見を反映させるためニーズ調査を行い、その結果に基づき策定しました。ニーズ調査の結果では、今後重要な意見の一つであると捉えたものとして、幼稚園や認定こども園（1号認定）を利用したいお子さんが約10名いることがわかりました。町内に4つの保育園はありますが幼稚園はありません。そのため、町内すべての子育て世帯を町内で支援することが重要であると考え、まずは4つの保育園のいずれか1園を「保育所型認定こども園」として平成28年度に開園を目指し、整備を進めていきます。

未就園児のお子さんについては、これまで通り大台町子育て支援センターの1施設を拠点として、親子ふれあいの場、子育て自主サークルの活動支援、育児支援・相談、家庭訪問など行い、たくさんのボランティアの方々にもご協力を得ながら積極的に取り組んでいきます。

また、町内の子育て支援センターとは別に、子育て支援を出張型で行っているため3つの出張広場を開設しており、それぞれ定期的に開放して未就園児を持つ子育て世帯を中心に支援を継続していきます。

今後、大台町は『地域と共に未来を担う子どもを育てるまち おおだい』を計画の基本理念として、さらなる取り組みを進めていきます。

大台町町民福祉課 浦中克実

わが町の子ども・子育て支援



玉城町

玉城町は「安心して子どもを産み育てられるまち」として、子育てに関わる機関が連携してきめ細やかな支援ができる体制で、子育てを応援しています。妊娠から出産、子育て中のみなさんが、町のいろいろな事業を通して学び、共感し、支えあう仲間を作り、子育ての喜びを感じ、自立できるような支援を目指しています。また、ファミサポなどの事業を通して、地域とのつながりで子育てを支えています。カナダの親支援プログラム NP（ノーバディーズパーフェクト）「完璧な親なんていない」を実施して、孤立感を軽減し、自信がつき、子育てのスキルの向上などの効果を参加してくれたみなさんが実感しています。「玉城町で子育てをしておよかった」と感じていただけるように、27年度もさまざまな事業を実施していきます。私たちとともに子育てを楽しみましょう。

玉城町子育て総合支援室 中西典子

大紀町

子どもは次の時代を担うかけがえのない町の宝であり、これからの町をつくる貴重な存在です。社会の希望であり未来をつくる力である子どもが安心して育つことができる環境、安心して子どもを産み育てることのできる環境を整備していくために、地域全体で支えていくことが重要です。しかし、近年の出生数の減少や出生率の低下にともなう少子化の進行、家族構成の変化や地域のつながりの希薄化によって、多くの子育て家庭が子育てへの不安感や孤立感を抱いている現状があります。

平成27年度からの「子ども・子育て支援新制度」に合わせ、当町では公立保育所・放課後児童クラブの開所時間を延長し、また、子育て世帯を応援するため各種手当をより充実していきます。ファミリー・サポート・センター事業においては、会員の確保を図りながら、緊急時の体制を整備していく必要があります。また、多くの方にご利用いただけるよう事業の周知と利用促進に努めていきたいと考えております。

大紀町健康福祉課 玉井紀秀

度会町

ライフスタイルの多様化、未婚化、晩婚化など家族構成の変化や地域のつながりの希薄化による子育てに対する不安や負担感の増加など子どもや子育てをめぐる環境は厳しい現状にあります。これらの課題に対応し子育てをしやすい社会をめざして国は「子ども・子育て関連3法」を定めました。子ども・子育て支援施策を通して誰もが幸せに暮らすことができる魅力あるまちづくりの推進ができるように度会町でも平成27年3月に「度会町子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。

度会町には、幼稚園がなくほとんどのお子さんが町内の保育所に通所しています。低年齢児保育や延長保育、一時保育、病児・病後児保育のニーズも高まっており、将来の保育ニーズを踏まえ、多様な保育サービスを提供し、質の確保・向上をめざします。又、待機児童の解消に向けた取り組みも推進します。現在は、利用の少ないファミリー・サポート・センター事業も核家族化により、今後ニーズが高まると予想されるため、提供会員の確保にも努めます。一方で一人ひとりの子どもが健やかに成長できるよう、妊娠・出産・育児の切れ目のない支援や障がいのある子どもが身近な地域で安心して生活できるように子どもの発達支援事業（保育所巡回指導、個別支援計画への立案から評価、学校へ引き継ぎ会、研修会など）の実施により、乳幼児期から個々に応じた途切れのない発達支援が提供できる体制づくりを整えます。

度会町福祉保健課 黒井真理子

南伊勢町

南伊勢町では、平成17年に「南伊勢町子育てプラン」を策定し、その後5年間にわたって、子どもの育ちと子育ての支援に取り組んできました。

しかしながら、南伊勢町の出生率は予想以上に低下しており、ますます子どもの数の減少が予想されます。こうした状況の中、平成27年4月からすべての子どもや子育てをしている家庭の支援を充実させることを目的とし、子ども・子育て支援制度が始まります。

南伊勢町は、子育て家庭が少なく仲間づくりが難しい環境になりがちですが、そのような家庭が孤立しないよう、気軽に相談ができるような顔が見える子育て支援事業の展開を図り、子育て支援ネットワークや保育サービスの充実に加えて、地域で子育て家庭を支えるファミリーサポートセンターや地域子育て支援センター事業の充実に力を入れ、誰もが安心して子どもを生み、子育てができる環境や支援の充実した笑顔でいきいき暮らせるまちを実現させるため、子育て支援の充実させることを目指していきます。

南伊勢町福祉課 川口みのり



平成26年度提供会員養成講座報告

■平成26年5月24日(土)・25日(日)・31日(土)・6月1日(日)
■大台町健康ふれあい会館 ■参加者17名

計24時間にわたり平成26年度提供会員養成講座を行いました。講座には17名の参加があり、うち大台町7名・玉城町2名・度会町1名が提供会員として登録されました。参加者の中には子育て中の方やお孫さんをみている方も多く、実際の子育てに役立ちますという声が聞かれました。また、最終日の講座の振り返りでは、少し不安はありますが、それぞれの町で子育てをサポートしていきたいという気持ちが伺えました。

大台町アドバイザー 塩谷明美



平成26年度ファミリー・サポート・ネットワーク 全国アドバイザー講習会・交流会(大阪会場)

■平成26年10月9日(木)10:00~17:00
■ホテル大阪ベイタワー ■参加者1名

基調講演：「地域の子育て支援として一時保育事業の学習機能」
～ファミリー・サポート・センター事業に着目して～

講師の東内瑠里子先生の研究や統計から見てくる、ファミリー・サポート・センターの良さと必要性を学びました。地域や親戚の関わりが少なくなっている現在、ファミリーサポート事業は、子どもや、親が親として成長していく過程に寄り添いながら、サポートをしていると感じました。

事例発表では寝屋川市・芦屋市・鈴鹿市のセンターが「アドバイザーが会員さんとかかわりに関して、困っていること、課題だと思ったこと」の対応と、その結果どうなったか、今後センターとしての取り組みの事例を発表されました。

そのあと参加者全員で5~6人のグループに分かれ、ケーススタディでの対応を話し合いました。出来事を確認し、会員さんや、子どもの気持ちをどう考えるかなど様々な意見が出ました。

アドバイザーとして、会員さんとの対応のきめ細やかさと、気持ちの寄り添うことの大切さを再認識しました。

南伊勢町アドバイザー 倉木紀子